

第14回定時株主総会にお寄せいただいた主な質問事項と回答（Q&A）

こちらに掲載したQ&Aは、株主総会に先立ちいただいた事前質問のうち、株主総会当日に採りあげなかったご質問を取りまとめたものです。

株主総会当日に採りあげたご質問は、「第14回定時株主総会 事前質問で株主の皆様の関心の高い事項について」に掲載していますので、そちらをご覧ください。

なお、事前質問状等でいただいたご質問以外のご意見等は、本Q&Aに掲載していませんのでご了承ください。

また、当社として責任をもって回答できるご質問に限り回答しています。

Q：今後注力していく事業・施策について教えて欲しい。

A：2021年5月に策定した中期経営計画「VISION2023」では、売上収益を2020年度の2,736億円から2023年度には3,200億円以上へ引き上げることを目標としています。とりわけモビリティ&テレマティクスサービス分野は、2,000億円規模の売上収益を目指しており、売上収益全体の60%を占める中核事業と位置付けています。その中でドライブレコーダーは目覚ましい成長を遂げ、2022年3月期の売上収益は、アフターマーケット、OEM、損害保険会社向けなど合計で300億円を超えました。当社は、世界のテレマティクスサービス市場が2030年に向けてCAGR（年平均成長率）9%以上で成長すると予想しており、将来的に、テレマティクスサービス向けの通信型ドライブレコーダーはさまざまな用途へと広がっていくことを期待しています。こうした背景のもと、新たな展開として、通信型ドライブレコーダーを活用したデータサービスビジネスを含むIoTプラットフォームサービス事業へとテレマティクスサービス事業を拡大していきたいと考えています。

Q：当社製の無線機は軍需用に開発・製品化されているか？

A：軍用に特化した開発・製品化は行っておりません。顧客要望により、アメリカ国防総省が定めるMIL規格[※]に準拠し・試験確認を行っています。

※アメリカ国防総省が調達する物資に対して、過酷な環境でも問題なく利用できるように定められている品質基準。

Q：高齢化の進行による人手不足など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、当社の映像技術や識別技術を農業分野で活用する考えはあるか？

A：映像認識技術や周辺認識技術、工場制御技術などを活用して、アグリテックにも十分に貢献できるのではないかと考えています。各種センサー技術を用いた試作を行うことも検討しています。

Q：Gazefinderの現在の状況は？

A：Gazefinderの豪州での治験は完了し、医療機器登録を申請中です。新医療（バイオデバイス、Gazefinder）は、引き続き新規市場開拓のため研究・製品開発、マーケティング活動を継続しています。これからも信頼の技術と光る個性で新たな医療を提案してまいります。

Q：当社従業員の平均年齢が高いが、今後どのように対応していくのか？

A：平均年齢はその性質上、毎年1歳増加しますので、一朝一夕での対策が難しいと当社は考えています。

今後は、現在主として活躍頂いている50代従業員の定年退職が想定されるため、10年後の人員構成の検討や、中途採用および新卒採用の方針策定と実行により、少しでも事業継続性に支障の出ない採用計画を進めていきます。同時に健康寿命自体も延びていますので、社会要請や法令改正も考慮に入れた上で、50代、60代の従業員の方が活躍できる環境構築も施策として検討してまいります。

以上